

露地野菜の自動収穫

北海道で実証実験を公開

露地野菜生産ロボット 機関・立命館大学)は9
化コンソーシアム(代表 月19日、北海道鹿追町内



たまねぎの自動収穫の様子

の圃場などでAIを活用した露地野菜の集荷までのロボット化・自動化に関する実証実験の様子を公開した。

対象品目はキャベツとタマネギ。キャベツは自動収穫機で収穫し鉄コンに詰め圃場外まで自動運搬台車で搬出。自動フォークリフトで積み込み積み下ろしを行う。また、タマネギについては、自動収穫機で収穫。コンテナをけん引するトラックが自動で並走し、収納する。このほか、合わせてドローンによる自動防除についても実演した。

今回の実証実験は農研機構の「革新的技術開発・緊急展開事業(人工知能未来農業創造プロジェクト)」と同(先導プロジェクト)」で2020年までの計5年間で取り組んでいる。トラックにはヤンマー、キャベツ収穫機と運搬台車はオサ

ダ農機、タマネギ収穫は訓子府機械工業、自動フォークリフトは豊田自動織機、ドローンはエンルートが協力している。なお、前日には一般農家などを対象に実演も行われ約200名が開発中の新技術を視察した。